

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(22年9月分)

1. 調査実施期間 平成22年 8月20日 ~9月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

9月分の回答企業数は43社、回収率は95.6%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		22/9月	10月	11月
仕入動向	国産材	△ 16.2	△ 1.5	△ 1.5
	外材	△ 11.3	△ 11.3	△ 6.3
販売動向	国産材	△ 12.5	△ 1.6	△ 4.7
	外材	△ 7.7	△ 1.3	1.3
在庫動向	国産材	△ 10.3	△ 4.4	△ 2.9
	外材	△ 10.3	△ 14.1	△ 12.8

仕入は秋需期を迎え、国産材、外材ともマイナス幅を縮小し回復傾向。

販売は、国産材、外材ともマイナス幅が小さくなり、外材は若干プラスに転じ、先行きに明るさが窺える。

在庫は、国産材が小幅のマイナス幅となったが、外材はマイナス基調で横ばい。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	22/9月	10月	11月
スギ正角(グリーン)	△ 2.2	△ 2.2	2.2
スギ正角(KD)	6.0	6.0	4.0
ヒノキ正角	△ 2.1	0.0	0.0
ヒノキ土台角	△ 2.0	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	△ 4.2	△ 2.1	△ 2.1
米ツガ防腐土台角	0.0	2.1	0.0
米ツガ割物(現地挽)	2.1	0.0	0.0
米マツ平角	0.0	△ 2.1	△ 4.2
北洋アカマツタルキ(現地挽)	2.1	0.0	0.0
ホワイトウッド集成管柱	△ 4.3	△ 2.2	△ 4.3
レッドウッド集成平角	△ 2.5	0.0	0.0
型枠合板(国産)	4.8	0.0	2.4
型枠合板(輸入)	16.7	2.4	0.0
針葉樹合板	10.5	5.3	2.6

スギ正角は、先行きプラス基調で推移し、とりわけKD材は強含み。ヒノキ正角、土台とも、±0と変化が見られない。

米ツガ正角(現地挽)は小幅のマイナスだが、割物、防腐土台は±0となっている。

米マツ平角は先行き小幅マイナス、北洋アカマツタルキは、±0となっている。WW集成管柱は小幅のマイナス基調。RW平角は±0で推移。

合板(針葉樹を含む)はプラス幅が徐々に小さくなり、上げ止った感あり。

1. 荷動き	
仕入動向	<p>米マツ一般材丸太では、カナダ物が森林火災の広がりから出材が大幅に減少し、オールド系を中心にFASは強含み。北米スプルース等役物丸太も出材減から強含み。為替円高は輸出価アップで相殺。(東京:米材問屋)</p> <p>今年の後半は前半より動きが減っている調整している。(東京:米材問屋)</p> <p>アイテムによっては不足気味の材があり、注意深く仕入れている。(東京:米材問屋)</p> <p>今月は仕入れの予定無し。未定だが次の入荷は10月の見込み。(東京:米材問屋)</p> <p>羽柄材を中心に9月は仕入れを増やす。(東京:外材集成材問屋)</p> <p>産地の天候は悪く出材少なく依然強含み。インドネシアはイスラム正月のために生産量は更に減少。(東京:南洋・中国材問屋)</p> <p>南洋材は全体的に入荷が少ない。(東京:南洋材問屋) サバの丸太不足深刻。(東京:南洋材問屋)</p> <p>特殊材のみ売行き良い。他商品は価格のたたき合い。全体に現場は少ない。アフリカ材は入荷がタイト。(東京:特殊材・銘木)</p> <p>北洋タモ、ナラ丸太の入荷なく、乾燥材の手当てタイトになってきた。(東京:広葉樹材問屋)</p> <p>構造材(スギKD)、羽柄材とも荷動き低迷。発注後入荷に時間がかかる。(東京:国産材問屋)</p> <p>造作材の動きも悪くなり仕入れは控えている。(東京:国産材問屋) 一部に外材から内地材へ移行あり。(東京:国産材問屋)</p> <p>当地区のプレカット工場の受注は、9月、10月共に、ほぼフル稼働の予想。しかし、原材料はメーカー・製材所からの直送が多く問屋、小売の荷動きはほとんど変化なし。(東海:外材問屋)</p> <p>川上では品薄のようだが回転が遅いため、早めに手配をすれば困ることは無い。(東京:仲買)</p> <p>全般的に仕事が低調なため値動きがない。(東京:仲買小売)</p>
	販売動向
在庫動向	<p>ベイマツ一般材丸太では定期的な配船が実需に見合っており、不良在庫は見当たらない。(東京:米材問屋)</p> <p>先の入荷の見込みがつかないため、じっくり売る方針。(東京:米材問屋) 欠品材の可能性大きい。(東京:南洋材問屋)</p> <p>仕入れに苦労することもあり一定量の在庫は必要。(東京:米材問屋) 多少増えています。(東京:米材問屋)</p> <p>入荷少なく全体的に在庫は減少している。(東京:南洋材問屋) 在庫減少傾向だが増やしてはいない。(東京:国産材問屋)</p> <p>売上増を期待し9月は少し在庫を増やす予定。(東京:外材集成材問屋)</p> <p>一時的にまとまった入荷も見られたが全般的には少ない感じがする。入荷後即完売の商品もある。(東京:南洋・中国材問屋)</p>
	2. 価格動向